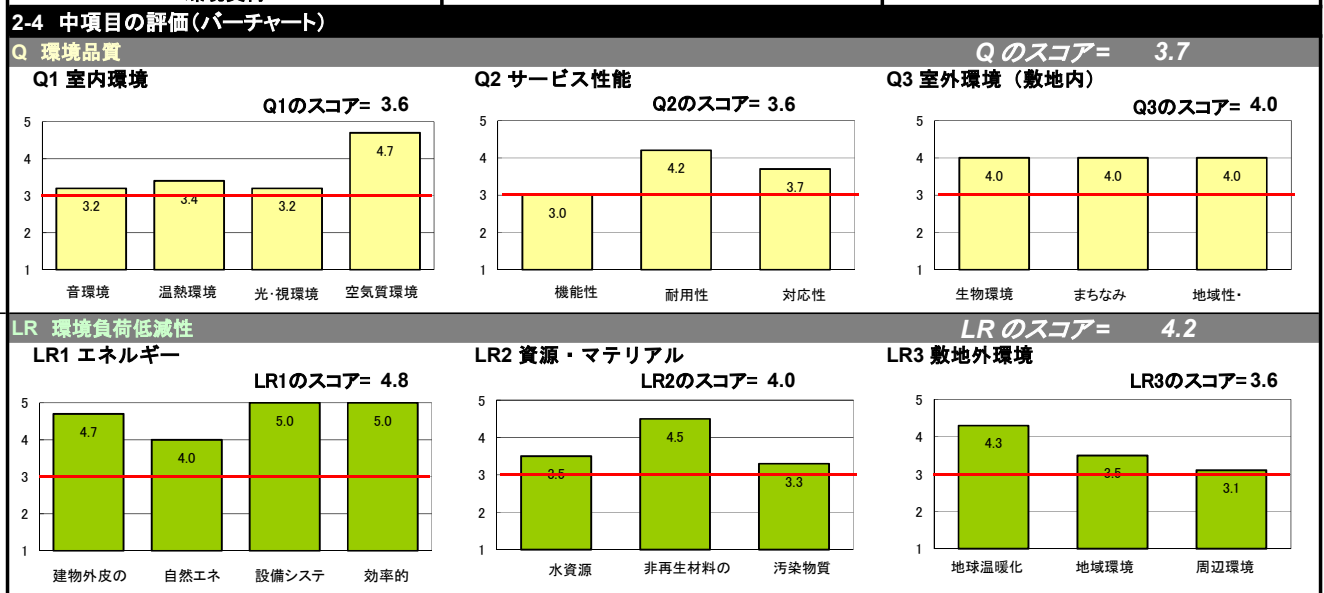
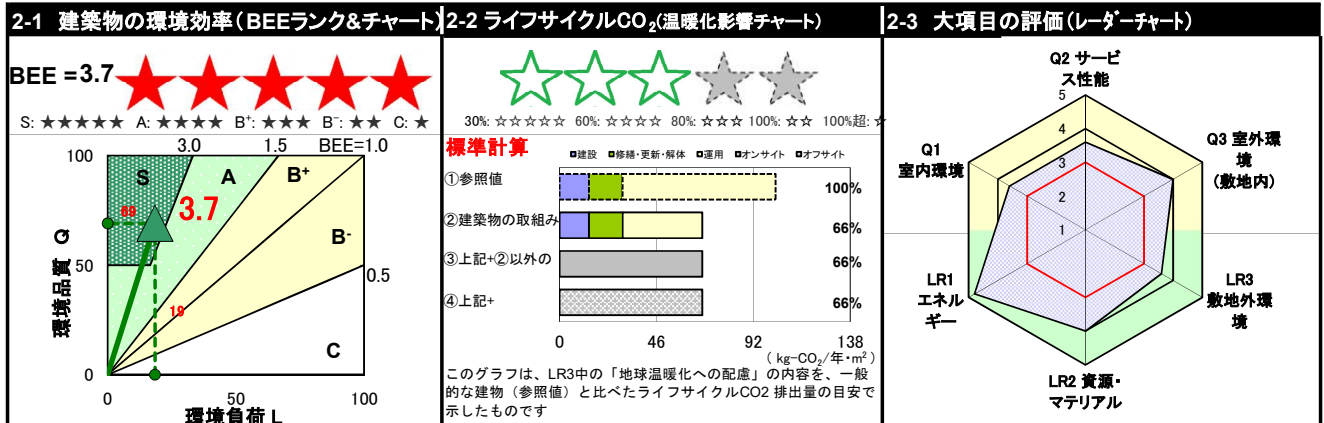


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)博多区新庁舎	階数		
建設地	福岡県福岡市博多区博多駅前2-17	構造		
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員		
地域区分	7地域	年間使用時間		
建物用途	事務所	評価の段階		
竣工年	2021年12月 竣工	評価の実施日		
敷地面積	2,480 m ²	作成者		
建築面積	1,734 m ²	確認日	2021年1月6日	
延床面積	15,224 m ²	確認者		



3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上層階の開口部は熱負荷に配慮して極小化するとともにリズム感のあるパターンとした。歩道側に既存樹(イチヨウ)を移植し屋上緑化するなど敷地内の緑化に努めた。また、吹き抜きのエントランスロビーに面したピロティ空間を設け歩行者に配慮した空間造りとした。 ・外皮性能向上による熱負荷の低減、高効率機器導入、ICTによる空調・照明制御等、省エネルギーに配慮する計画 		<p>その他</p> <p>0</p>
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調は方位毎にゾーン分けを行い、尚且つゾーン毎に冷房・暖房の選択が可能な空調システムを採用し、室内環境の向上に配慮する。 ・中央監視、BEMSによる集中管理を行い、適切な室内 	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・免震構造とすることで、大地震時の揺れを低減させ、躯体損傷を低減させ、建物耐用年数の向上を図った計画とした。 ・災害時において建物が機能するように配慮し、飲用受水 	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺商業施設の持つ賑わい景観と調和するよう建物低層部の雰囲気づくりに配慮した。 ・歩道沿いにイチヨウを移植し、並木の景観を形成する計画としている。
<p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物の適切な断熱性能の確保と、各種設備機器の適切な機種選定を行った。 ・水廻りの設備では積極的な節水タイプの選定を行った。 ・照明は全てLED器具を採用し省エネルギー化を図 	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福岡市の再生水(中水)をトイレの排水等に利用し、水資源の有効利用を図った。 ・断熱材はノンフロンのもを使用し、オゾン層破壊防止に貢献する計画とした。 	<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境への配慮としてライフサイクルCO₂の低減を図った。 ・周辺建物に配慮し、屋上に設備機器を配置した。 ・雨水流出抑制槽を地下ピットに計画し、下水道の負担低減に配慮した計画とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される